

1 気象概要

平成 18 年 11 月 7 日から 9 日にかけて、日本付近では大気の流れが速く、気圧配置がめまぐるしく変化した。また、上空の気温も変化が大きく、大気の状態が不安定となっていた。

7 日は宗谷海峡付近にある低気圧からのびる寒冷前線が北海道を通過した。寒冷前線付近では積乱雲が発達し、道内各地で雷雨や突風、竜巻等が発生した。8 日には、この低気圧は急速に発達しながら北東に進みサハリンの東に達した。このため、北海道付近は冬型の気圧配置となって西風が強かった。

9 日には、別の低気圧が発達しながらサハリン付近に進み、この低気圧からのびる寒冷前線が北海道の西海上に接近した。このため、7 日同様に大気の状態が不安定となって、道内各地で雷雨となり、奥尻島では竜巻が発生した。

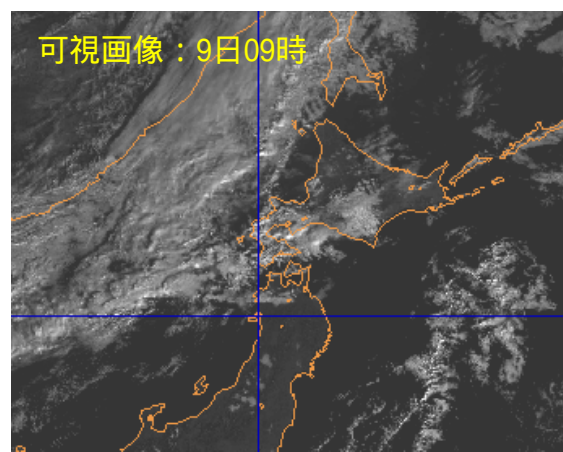
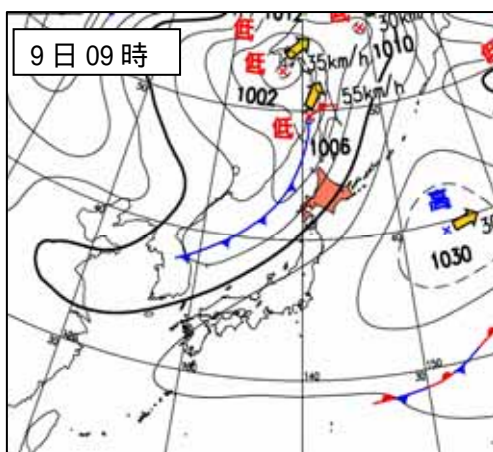
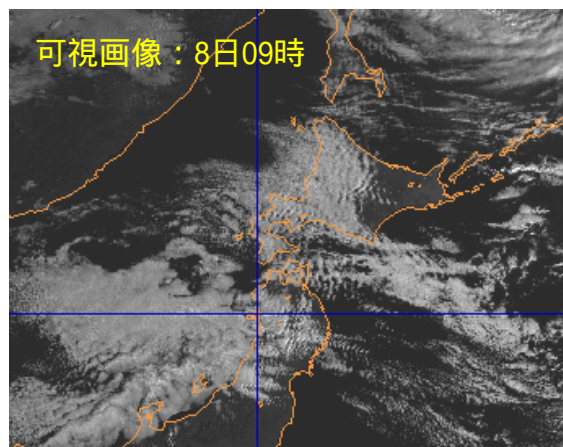
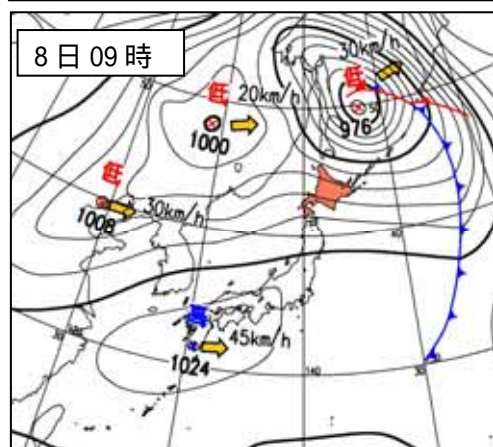
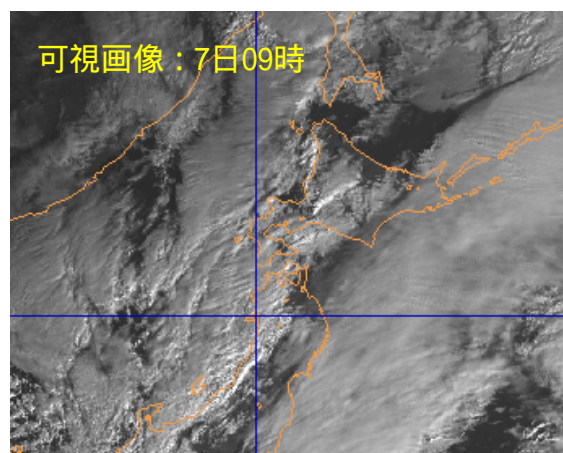
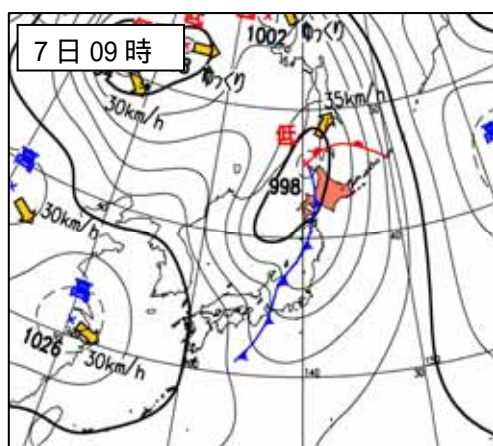


図 1-1 11 月 7 日～9 日の地上天気図

図 1-2 11 月 7 日～9 日の衛星画像図